

安念潤司教授 最終講義のお知らせ



安念潤司教授は、2007年に中央大学大学院法務研究科（法科大学院）に教授として着任されて以降、本学の学術および教育の発展に尽力してこられましたが、本年3月末をもって定年退職されることとなりました。

つきましては、安念教授の最終講義を、下記のとおり開催いたします。

研究面においては、憲法学にとどまらず、多彩な学術分野にわたりご活躍されてきたことは周知のとおりです。また教育面においても、常に内容の充実した講義を行われるとともに、学生一人ひとりに寄り添う親身なご指導を続けてこられ、その姿勢は多くの学生・修了生から深い信頼を集め、強い印象として心に刻まれてきました。

安念先生が中央大学で教壇に立たれる最後となるこの貴重な機会に、ぜひ多くの皆様にご臨席賜りますよう、心よりお待ち申し上げております。

日 時：2026年3月6日（金）18:00～19:40

会 場：中央大学駿河台キャンパス4階大会議室

アクセス：<https://www.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/>

講演者：安念潤司教授

題 目：北海道雨竜郡納内村から安全保障法制まで

参加申込について

最終講義へのご参加を希望される方は、2026年2月23日（月）までに、下記の申込フォームよりお申し込みください。

【申込フォーム URL】

<https://forms.gle/kY5ku3kkNMiSevJK8>

【申込フォーム QRコード】



※お申し込みがない場合でも、当日のご参加は可能です。

ただし、資料・会場準備の都合上、ご予定をおわかりの方は、事前申込にご協力いただけますと幸いです。

お問い合わせ

安念教授最終講義準備委員会

E-mail : annen.finlecture20250320★gmail.com

メール送信の際は、上記アドレスの★を@に変更してください